

銀賞 鈴木 翔君

北海道名寄産業高等専門学校建築システム科 「すきまに築く」

市街地の衰退への危機感を背景とした街づくり計画である。まちの隙間を生かすこと、「祭り」と「運動」をテーマにすることが論理立てて説明されており、作者の地域への愛情が感じられる。隙間に建築を挿入することにより生まれるアクティビティの連続、統一感のある景観形成などに現実性を伴う魅力がある。また、デパートの屋上に設けられた祭り小屋や体育館など屋根をモチーフとしてデザインされているが、歴史的な要素に流されることなく、シンプルにデザインされており、レベルの高い作品である。

(文責：菅原 秀見)

